

# 九州地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和5年3月9日（木）10:00～11:20

## □場所

九州地方整備局（福岡第二合同庁舎） 2階共用会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いけうち ひろこ 池内 比呂子	（一社）九州経済連合会 理事 （株）テノ、ホールディングス 代表取締役社長	○
いしばし ともや 石橋 知也	長崎大学大学院 工学研究科 准教授	○
くわの いずみ 桑野 和泉	（一社）由布市まちづくり観光局 代表理事	○
ささがわ みちこ 笹川 理子	弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士	○
しまもと ひろし 嶋本 寛	宮崎大学 工学教育研究部 社会環境システム工学科 准教授	○
てらまち けんいち 寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授	○
とだ じゅんいちろう 戸田 順一郎	西南学院大学 商学部 商学科 教授	
はらくち ゆい 原口 唯	（株）YOUI 代表取締役	○
まつなが ちあき 松永 千晶	福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授	○
【委員長】 まるやま たくや 円山 琢也	熊本大学大学院 先端科学研究部 教授	○

## □対象事業

- ・一般国道3号 広川八女バイパス
- ・一般国道10号 住吉道路
- ・一般国道208号 荒尾道路

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道3号 広川八女バイパス】

- ・対象区間には工業団地が集積し、大型車混入率が30%超と非常に高いため、バイパス整備により交通が転換することで、現道の課題解決が期待できる。
- ・（主）久留米立花線への大型車の流入を防ぐ効果もあり、交通安全の観点でも必要性が高いため、生活道路が抜け道とならないように関係自治体と連携して進めること。
- ・渡河橋梁の形式など、当該地域の風景と道路が調和するように、景観に対して配慮すること。

### 【一般国道10号 住吉道路】

- ・南海トラフ地震等の災害発生時には物流の確保は重要であり、住吉道路においても災害リスクがある地域であることから、防災に関して事業の効果が大きく、期待できる。
- ・施工時に切土が生じる場合においては、法面処理など自然環境や景観にも配慮すること。

### 【一般国道208号 荒尾道路】

- ・荒尾道路の事業化延長は短く、対象区間のみでの便益は高くないが、ネットワークとして整備することで、災害、事故、渋滞の対策として重要な事業である。

## □結論

一般国道3号 広川八女バイパス  
一般国道10号 住吉道路  
一般国道208号 荒尾道路  
の新規事業化については妥当である。